

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月7日  
東

上場会社名 佐藤食品工業株式会社 上場取引所  
 コード番号 2814 URL <http://www.sato-foods.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 佐藤 仁一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長兼営業部次長(氏名) 上田 正博 (TEL) 0568-77-7316  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,695	△3.9	276	△18.2	364	△26.5	64	0.8
26年3月期第2四半期	2,804	△1.6	338	△4.3	495	△9.4	64	△78.4
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第2四半期	10.35		10.34					
26年3月期第2四半期	10.27		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	15,663	13,948	89.0
26年3月期	15,907	13,933	87.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 13,943百万円 26年3月期 13,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00			
27年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,910	0.2	708	△7.3	792	△16.5	137	△6.5	22.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	9,326,460株	26年3月期	9,326,460株
27年3月期2Q	3,079,054株	26年3月期	3,078,655株
27年3月期2Q	6,247,505株	26年3月期2Q	6,247,805株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、経済対策の効果により緩やかな景気回復傾向にあるものの、世界的な経済成長率の鈍化や、消費税増税からの国内消費の回復が鈍く、国内景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社の当第2四半期累計期間における売上実績は、茶エキスにつきましては、紅茶エキス等が増加したものの、緑茶エキス・機能性茶エキス等が減少したため、売上高は1,334百万円（対前年同四半期比6.3%減）となりました。

粉末天然調味料につきましては、粉末昆布・粉末鰹節・粉末酢等が増加したものの、粉末ビーフ・粉末椎茸等が減少したため、売上高は778百万円（同2.3%減）となりました。

液体天然調味料につきましては、椎茸エキス等が増加したものの、鰹節エキス・昆布エキス等が減少したため、売上高は324百万円（同5.9%減）となりました。

植物エキスにつきましては、野菜エキスが減少したものの、果実エキス等が増加したため、売上高は229百万円（同8.7%増）となりました。

粉末酒につきましては、ブランドタイプ・清酒タイプ等が減少したものの、ワインタイプ・ラムタイプ等が増加したため、売上高は24百万円（同0.9%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は2,695百万円（同3.9%減）となり、前年同四半期より108百万円減少しました。

損益面につきましては、売上高の減少により営業利益は276百万円（同18.2%減）、貸倒引当金戻入額49百万円（同58.5%減）を計上したため経常利益は364百万円（同26.5%減）となりました。また、法人税等305百万円（同28.7%減）を計上したため四半期純利益は64百万円（同0.8%増）となりました。

なお、当社は食品加工事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における資産合計は 15,663百万円となり、前事業年度末に比べ 244百万円減少しました。

流動資産については 6,982百万円となり、前事業年度末に比べ 157百万円減少しました。主に、たな卸資産及び売上債権がそれぞれ 195百万円、65百万円増加し、現金及び預金が 449百万円減少したことによります。

固定資産については 8,680百万円となり、87百万円減少しました。主に、投資その他の資産が 70百万円増加し、有形固定資産が 166百万円減少したことによります。

負債合計は 1,714百万円となり、前事業年度末に比べ 260百万円減少しました。

流動負債については 1,515百万円となり、前事業年度末に比べ 278百万円減少しました。主に、仕入債務が 33百万円増加し、未払法人税等が 309百万円減少したことによります。

固定負債については 199百万円となり、前事業年度末に比べ 18百万円増加しました。主に、繰延税金負債が 21百万円増加したことによります。

純資産合計は 13,948百万円となり、前事業年度末に比べ 15百万円増加しました。主に、配当金の支出により 93百万円減少したものの、四半期純利益 64百万円を計上し、その他有価証券評価差額金が 40百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末より 449百万円減少し、4,439百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の減少は、274百万円(前年同四半期は 349百万円の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益 370百万円及び法人税等の支払額 615百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、80百万円(前年同四半期は 127百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出 64百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、94百万円(前年同四半期は 93百万円の減少)となりました。これは、配当金の支払による支出 93百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月30日に公表いたしました平成27年3月期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には法定実効税率を使用しております。

### (2) 追加情報

当社は、従来、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、平成26年6月27日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止しております。

これに伴い、同総会終結の時までの在任期間に対応した退職慰労金を打ち切り支給することとし、具体的な金額、方法等は、取締役については取締役会において、監査役については監査役の協議に一任することを決議いたしました。このため、当該支給見込額については、引き続き役員退職慰労引当金に含めて計上しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,888,937	4,439,239
受取手形及び売掛金	1,074,476	1,140,297
製品	510,512	611,133
仕掛品	313,952	382,935
原材料及び貯蔵品	223,747	249,773
その他	128,666	159,597
貸倒引当金	△108	△114
流動資産合計	7,140,184	6,982,863
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,215,259	2,150,328
機械及び装置（純額）	2,029,019	1,939,544
土地	2,468,073	2,468,073
建設仮勘定	4,000	—
その他（純額）	134,527	126,243
有形固定資産合計	6,850,880	6,684,190
無形固定資産	21,009	30,532
投資その他の資産		
投資有価証券	1,733,772	1,799,585
破産更生債権等	1,492,534	1,443,289
その他	161,921	166,210
貸倒引当金	△1,492,534	△1,443,289
投資その他の資産合計	1,895,694	1,965,795
固定資産合計	8,767,584	8,680,518
資産合計	15,907,768	15,663,381

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	291,948	325,619
短期借入金	500,000	500,000
未払金	122,489	86,033
未払法人税等	628,396	318,433
賞与引当金	113,000	121,400
設備関係支払手形	2,256	6,089
その他	135,632	157,660
流動負債合計	1,793,722	1,515,235
固定負債		
役員退職慰労引当金	28,820	25,570
繰延税金負債	96,692	118,280
資産除去債務	55,285	55,321
固定負債合計	180,797	199,172
負債合計	1,974,520	1,714,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,672,275	3,672,275
資本剰余金	4,444,796	4,444,793
利益剰余金	9,037,858	9,008,811
自己株式	△3,427,934	△3,428,344
株主資本合計	13,726,994	13,697,535
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	206,253	246,449
評価・換算差額等合計	206,253	246,449
新株予約権	—	4,989
純資産合計	13,933,248	13,948,974
負債純資産合計	15,907,768	15,663,381



## (2) 四半期損益計算書

## 第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,804,066	2,695,814
売上原価	2,083,418	2,031,765
売上総利益	720,647	664,049
販売費及び一般管理費	382,204	387,292
営業利益	338,443	276,756
営業外収益		
受取利息	827	1,088
受取配当金	27,851	27,401
助成金収入	4,078	4,078
貸倒引当金戻入額	118,612	49,234
その他	8,075	10,378
営業外収益合計	159,443	92,181
営業外費用		
支払利息	2,364	2,287
役員退職金	—	2,240
その他	0	165
営業外費用合計	2,365	4,693
経常利益	495,522	364,245
特別利益		
受取損害賠償金	—	6,941
特別利益合計	—	6,941
特別損失		
損害賠償金	—	284
固定資産売却損	216	—
固定資産除却損	2,734	723
特別損失合計	2,951	1,008
税引前四半期純利益	492,570	370,178
法人税等	428,437	305,508
四半期純利益	64,133	64,670

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	492,570	370,178
減価償却費	220,016	214,022
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△118,637	△49,239
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,000	8,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,378	△3,250
保険解約損益(△は益)	△3,310	△2,908
受取利息及び受取配当金	△28,678	△28,489
支払利息	2,364	2,287
有形固定資産売却損益(△は益)	216	-
有形固定資産除却損	2,734	723
損害賠償金	-	284
助成金収入	△4,078	△4,078
売上債権の増減額(△は増加)	179,405	△65,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△129,340	△196,459
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△38,959	△30,894
仕入債務の増減額(△は減少)	△169,904	38,035
未払金の増減額(△は減少)	△40,326	△17,514
未払費用の増減額(△は減少)	△3,455	8,040
未払消費税等の増減額(△は減少)	△5,771	12,544
破産更生債権等の増減額(△は増加)	118,620	49,245
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△12,237	1,505
受取保険金	△2,433	-
受取損害賠償金	-	△6,941
その他	824	8,178
小計	467,999	307,848
利息及び配当金の受取額	28,639	28,460
保険金の受取額	2,433	-
損害賠償金の受取額	-	6,941
利息の支払額	△2,344	△2,294
損害賠償金の支払額	-	△284
法人税等の支払額	△147,262	△615,533
営業活動によるキャッシュ・フロー	349,465	△274,862

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△116,063	△64,049
有形固定資産の売却による収入	20	—
無形固定資産の取得による支出	—	△12,186
投資有価証券の取得による支出	△4,020	△4,182
長期前払費用の取得による支出	△4,107	△16
助成金による収入	4,078	4,078
その他の収入	2,537	6,475
その他の支出	△10,840	△11,027
その他	863	154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,532	△80,755
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△432
自己株式の売却による収入	—	19
配当金の支払額	△93,635	△93,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,635	△94,079
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	128,297	△449,697
現金及び現金同等物の期首残高	4,124,151	4,888,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,252,448	4,439,239

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、食品加工事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,410,844	△6.4
粉末天然調味料	815,965	1.9
液体天然調味料	326,913	△9.9
植物エキス	271,988	41.0
粉末酒	23,851	13.7
合計	2,849,563	△1.2

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。  
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②受注実績

当社は、見込み生産を行っているため、該当事項はありません。

## ③販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
茶エキス	1,334,004	△6.3
粉末天然調味料	778,781	△2.3
液体天然調味料	324,311	△5.9
植物エキス	229,888	8.7
粉末酒	24,320	0.9
その他	4,507	56.4
合計	2,695,814	△3.9

- (注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)伊藤園	318,086	11.3	398,604	14.8
ミヤコ化学(株)	260,433	9.3	270,602	10.0